



新庁舎の特徴

- ✓ 浸水被害に備え、事務室・仮眠室を2階に、非常用発電機を3階に設置
- ✓ 感染症流行時も消防業務を継続するため、隊員の除染や機材の消毒を行う洗浄室を設置
- ✓ 女性職員専用スペース（仮眠室・シャワー等）を設置

訓練塔の特徴

- ✓ 民家での火災を想定した屋内での放水訓練が可能
- ✓ 防火水槽を川などに見立てた、救助訓練が可能
- ✓ 救助用ボート等を保管する資機材倉庫を設置

新たな 角田消防署

移転・新築の背景

現在の角田消防署は、供用開始から56年が経過し、庁舎の老朽化が著しく進んでおり、住民の安全・安心を守る拠点施設として役割を十分に発揮できない状況です。

また、敷地が狭く、訓練スペースを確保することができず、十分な訓練を実施することもできない状況です。



現在の角田消防署

それらの課題を解決するため、幹線道路へのアクセスも良く、令和元年東日本台風でも被害が確認されなかったエリアに庁舎を新築します。

新角田消防署計画概要

計画地	角田市梶賀字高畑南9番地ほか		
敷地面積	約4,400㎡		
配備車両	7台【救急車・ポンプ車・水槽車ほか】		
構造	鉄筋コンクリート造【庁舎棟・訓練塔】		
延床面積 階数	庁舎棟	約1,600㎡	3階建
	訓練塔	約260㎡	3階建 2棟



今後のスケジュール

令和7年4月の着工を予定しており、令和8年10月からの供用開始を予定しています。

【問い合わせ先】消防本部 ☎0224-52-1050